

令和元年6月3日

運営協議会委員各位

学校運営協議会会長 白石 豊和

令和元年度 第1回高森東学園学校運営協議会会議録

下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 日時：令和元年6月3日（月）19：00～
2. 場所：高森東学園2棟会議室
3. 出席者等  
運営協議会委員13名  
佐藤教育長、古庄審議員、白石係長、上田係長、教頭2名、高森東学園CS担当職員、  
事務職員 計22名  
欠席者（江藤、芹口、城井、岡本）
4. 議題
  - 1 開会
  - 2 学校運営協議会委員委嘱状交付
  - 3 高森町教育長あいさつ  
昨年度意見より委嘱期間の変更があつている。  
学校運営協議会の設立＝コミュニティスクール。  
平成23年から5年間で3000校に当時500校。  
高森町は平成24年度から7年間国の補助事業を受けてきた。  
平成26年4月1日高森東学園コミュニティスクール開始  
平成30年度では5432校に。
  - 4 自己紹介
  - 5 学校運営協議会規則・東学園学校運営協議会要項等の確認  
第8条（任期）任期を6月1日～翌年5月31日までに変更。  
学校経営方針の承認、教職員の任用に関する意見集約、学校評価
  - 6 高森町教育委員会より  
「コミュニティスクール2018」8ページ地域学校協働本部と学校運営協議会は  
どう一体的に推進していけばいいか。社会の変化において学校だけでは行えない。  
地域学校協働活動の総括を田中先生がつとめ、東学園と中央学園のつながりをはか  
る。社会教育の流れの中に家庭、修学前、学校がある。地域と学校が協働していく

上で非常に重要で、社会教育と連携していくべきである。学校運営協議会が持っていた部分を地域学校協働本部で担っていくことになる。

- ・地域協働本部が入るといふ、単純な拡大になるのか？（首藤）  
→単純な拡大ではない。学校運営協議会が持っていた実動的な部分を調整したり実行したりを地域学校協働本部で担う。（古庄）
- ・これからは立案したことを田中先生に連絡していけばいいのか？  
→理想はそうだが、これからやりながら仕組みを確立していく。（古庄）

## 7 会長・副会長の選出

会長に白石豊和、副会長に首藤規康、堀田美幸を置く

## 8 議事

### (1) 高森東学園 学校経営方針の概要説明（塩村）

別紙資料

### (2) 質疑

なし

### (3) 承認

### (4) 昨年度活動報告

### (5) 昨年度収支報告

### (6) 学校運営協議会の目標

昨年度の文化祭の告知や送迎などやってよかったと思う。今年度どうするか話合っていくことも必要だが、継続していくことで人が増えていくということもあるのではないか。（工藤）

地域人材活用を増やせないだろうか（伊東）

地域人材の名簿作成と少しずつの活用をはかつてはどうか（浅川）

今年度も「地域とともにある学校づくり～地域の人をもっと学校に～」とし、次回で人材のリストアップと活用につなげていく（白石）

### (7) 開催回数・開始時刻について（事務局）

今年度も年6回19時から行う予定。

第6回を4月に遅らせて次年度運動会の話し合いもできれば。

### (8) その他

## 9 連絡事項

○年間行事について

○学校公開日について

6月28日（金）情報交換会

6月5日（水）芸術鑑賞

## 10 閉会

以上